



6月の園だより



しっとりとした雨にあじさいの花が美しく映える季節となりました。

お気に入りのレイングッズを身にまとい、嬉しそうに登園する子どもたちは、この時期ならではの季節の移り変わりを楽しんでいるかのようです。

「雨の日は外で遊べなくて退屈だな.....」と感じるのは、大人だけかもしれません。子どもたちにとって、雨は五感を刺激してくれる最高の環境です。

きっとこれから園庭では、大きな水たまりを見つけてダイナミックに遊んだり、お気に入りの長靴でアスファルトを歩きながら足元の響きを楽しんだりする姿がたくさん見られるようになります。

これらはすべて、子どもたちが自ら見つける「問い」であり「学び」の瞬間です。

大人が用意した正解を教えるのではなく、子どもたちが「おや?」「どうして?」と心動かされ、自分なりの答えを見つけようとするプロセスそのものを応援していきたいと思います。

この時期にしかできない遊びを一緒に思いきり広げていきたいものです。



6月の予定

3日(水)	尿検査提出日	16日(火)	内科健診 12:30～
10日(水)	パンの日	18日(木)	うめ野外保育
10・11(水・木)	発育測定	19日(火)	誕生会
12日(金)	さくら組野外保育	24日(水)	ばら野外保育
25日(木)	歯科健診 12:00～		



お知らせ

- ・うめこうじ佐土原店にて家族の似顔絵を展示します。
一人一人の「大好き」の気持ちが詰まった、世界にひとつだけの温かい作品をぜひご覧ください。(展示クラス：ばら・うめ・さくら組)
- ・職員の産前産後休暇のご報告
このたび、河野美悠 保育教諭（フリー）が、出産を控えて5月23日より産前産後休暇に入ることとなりました。母子ともに元気で復帰してくれる日を楽しみに待ちたいと思います。皆様、温かく見守っていただけますよう、よろしくお願い申し上げます。





令和8年度父母の会会長のご紹介 と 令和8年度父母の会予算報告について

- 今年度も、昨年度に引き続き迫間様に会長職を継続して取り組んでいただけることとなりました。園の保育方針や子どもたちの活動を深くご理解くださり、いつも温かく支えてくださる迫間会長に、今年度もバトンを繋いでいただけることを大変心強く思っております。
今年度も1年間、どうぞよろしく願いいたします。
- 令和8年度父母の会予算につきまして、本日別紙にて配信いたしましたのでご確認ください。
何かご不明な点がございましたら、いつでも園までお気軽にお問い合わせください。



5月の個人面談をおえて（お礼）

5月よりおこなっております個人面談では、お忙しい中、大切なお時間を作ってください本当にありがとうございました。

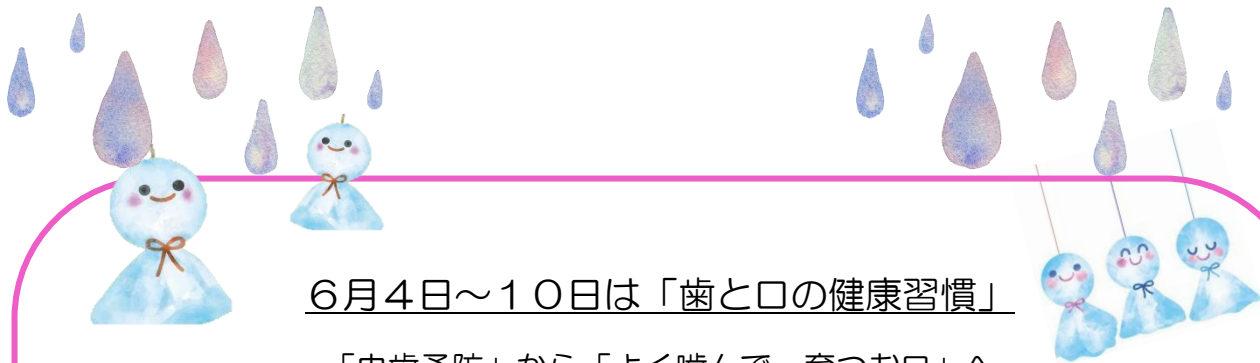
おうちでのリラックスしたお子さまの様子や、日頃感じていらっしゃる愛おしい成長の瞬間、そしてちょっぴり悩まれていることなど、たくさんのお話をお聞きすることができ、大変有意義な時間となっております。

お仕事の都合などでこれから面談を予定されている保護者の皆さまにつきましてはお会いしてじっくりお話しできるのを、担任一同、心から楽しみにしております。

面談の中で保護者の皆さまと共有できた「お子さまのこれからの育ちへの願い」は、私たち職員にとって、何よりの宝物です。おうちでの姿と園での姿、その両方を結び付けながら、明日からの日々の保育（主体的な関りや環境づくり）をさらに豊かなものにしていきたいと思っております。

子育てのパートナーとして、面談時期に関わらず気になることや質問などがあれば、いつでも（連絡帳や送迎の際に）お気軽にお声がけください。





6月4日～10日は「歯と口の健康習慣」

～「虫歯予防」から「よく噛んで、育つお口」へ～

現代の子どもたちは、フッ素の普及などによって「虫歯は昔に比べて劇的に減っている」と言われています。その一方で、柔らかくおいしい食べ物が増えたことで、噛む回数が減り、「顎が小さくなって歯並びが乱れる」「お口をポカンと開けたままにする」といった子が非常に増えているのが現代の傾向です。

よく噛むことは、単に食べ物を細かくするだけでなく、子どもの顎の骨の発達を促し、綺麗な歯並びや、正しい発音、そして脳の発達まで深く繋がっています。園では、この健康習慣に合わせて「歯科健診」を実施いたします。

当日は、囑託医の後藤歯科医院の先生にお越しいただき、虫歯の有無だけでなく、歯並びやお口の使い方のバランスまで優しく丁寧に診ていただきます。

ご家庭でもお子さまのお口の健康や、日々の「噛むこと」について見つめ直す機会にしていただければ幸いです。

第3回目のコラムは♡

雨の日の発見



雨の日、水たまりに飛び込む子がいます。

大人には困りものですが、子どもにとっては「跳ね返る水の不思議」に挑む大実験です。

近年の乳幼児教育の研究では幼児期に自分の興味・関心に基づいてトコトン探求した経験のある子ほど、小学校以降の「自ら学びに向かう力（主体性や粘り強さ）」が高くなることが分かっています。

当園では、危ないこと以外は「ダメ」と止める前に、「その好奇心がどこに向かっているのかな？」と一緒に面白がれる保育者でありたいと考えています。その探求心こそが、子どもたちの未来を切り拓く「主体性」の原動力です。

